

2008年7月30日
(2008/7/29 Original)
松岡 俊二

IR3S・WISPJ マクロ班・第2回研究会

1. 研究計画案

IR3S 早稲田大学 WISPJ マクロ班

「温暖化問題への政治的意思決定とジャーナリズム」

タイトル案1 「気候変動政策の政治的意思決定とジャーナリズム」

案2 「温暖化問題への政治的意思決定とジャーナリズム」

第1章 気候変動問題の政治とジャーナリズム：課題と方法

科学的評価→ジャーナリズム・マスコミの報道（情報）→人々の意識（世論）→社会的行為・行動→ガバナンス（政府・企業・市民社会）→政策決定・政治的意思決定←社会経済状況・社会的制度

第2章 気候変動政策と国際政治

太田案

- 企画案-1: 気候変動政策における G8 サミットの意義と役割
- × 企画案-2: 気候変動緩和レジームとオゾン層保護レジーム間の相互連関の研究
- △ 企画案-3: 日米の気候変動政策にみる国益と「地球益」

第3章 気候変動政策と EU

中村案

気候変動レジーム形成における EU のリーダーシップ：削減目標設定と排出量取引制度 (ETS) の意義

(温暖化に関する国内政治の分析：太田)

第4章 気候変動問題とジャーナリズム→国際比較：日本、アメリカ、イギリス

瀬川案

温暖化問題とマスメディアの言説：「環境実践」に結びつかない言説構造の分析

第5章 気候変動問題の認識とマスメディア

栗田案

環境問題の認識とその温度差：日中韓比較分析

第6章 気候変動政策の政治経済学

松岡案

地球温暖化問題の政治経済学（環境経済学）

第7章 日本の気候変動政策と行政過程

吉田案

わが国の温暖化対策に関わる行政過程の分析：わが国の国内対策の進捗をどう評価すべきか

第8章 気候変動政策の形成と政治とジャーナリズムの役割

2. ロードマップについて

6/20 第1回・研究打合せ

7/29 and 7/30 第2回研究会

10/27（月）18:30-20:00：第3回研究会：瀬川+栗田

12/20（土）-12/21（日） 第4回研究会（箱根合宿）：全員報告

2009年

2月頃 第5回研究会

3月末 原稿